

◆実践問題33◆

〔小野篁が母の異なる妹と恋仲になった。〕

かかることを、母おとど聞き給ひて、ものもの

たまはで、うかがひ給ひて、向かひ給ひたりける

を、手を取りて、引きもて行きて、部屋にこめてけ

り。これを、父ぬし聞き給ひて、のどかなりける人

なりければ、男もかしこき者にて、女をさなき者

そのように、にあらず。さしたるやうあらむな。なほ許し給ひ

て、のたまふに、とて、いよいよ鍵の穴に土塗り

て、大学のぬしをば、家の中にな入れそとて、

もりたる所に行きて見れば、壁の穴いささかあり

- 1回目
- 2回目
- 3回目
- 4回目
- 5回目

けるを、くじりて、「ここもとに寄り給へ」と呼び

寄せて、物語して、泣きをりて、出でなまほしく思

へど、まだいと若くて、たばかりべき人もなく、わ

びければ、ともかくもえせで、いといみじく思ひ

て、語らひをるほどに、夜明けぬべし。